

2022年6月21日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

国際交流・異文化体験 特別講義

インドネシアの伝統楽器「アングルン」

多様性と異文化に触れる「合奏ワークショップ」を開催

中部学院大学では、インドネシアの伝統楽器「アングルン」の奏者を本国から招いた特別講義「アングルン合奏ワークショップ」を行います。学生は、伝統楽器の合奏を通じて、多様性や異文化に触れながら、理解を深めます。

アングルンは、竹から作られた打楽器で、2010年にユネスコの無形文化遺産に登録されました。今回のワークショップは、アングルンの国際的な普及を図ろうと、インドネシア西ジャワ州西バンドン市政府が日本（岐阜県）に講師を派遣するのに合わせて実現しました。（滞在中は岐阜大学などでも活動される予定）

講師を務めるアルディアン・スマルワン氏は、同国西バンドン市の首席アングルン奏者で、同市のアングルンによるプロモーション活動のプロデューサーを務めたり、国立中学校で指導にあたったりしています。

本学にはインドネシアからの留学生も在籍していることから、国際交流を図ると共に、異文化理解を深める機会と位置付けています。また、ここ数年のコロナ禍の状況下においては、合唱やパフォーマンスなど、学生が一緒になって、体験しながら一つのステージを創り上げることができませんでした。今回は、一人一人が奏でる打楽器であることから、コロナ感染のリスクを抑えると同時に、合奏を通じて協働の大切さを感じたり、音楽を通じたコミュニケーションの取り方を学ぶ機会になることを期待しています。

参加者は、保育や介護を学ぶ学生、留学生別科生（本学への進学希望者を対象とした1年過程）をはじめ、ワークショップに関心のある学生、教職員など計80人です。

記

- 日 時 2022年6月30日(木) 午後1時20分から同2時50分まで
- 会 場 中部学院大学 関キャンパス 本館3F グレースホール (関市桐ヶ丘2-1)
- 参加者 最大80人(教職員を含む)
短期大学部：幼児教育学科「保育基礎講座Ⅰ」受講生
社会福祉学科「地域総合演習」受講生
大学：人間福祉学部・スポーツ健康科学部・留学生別科の希望者

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 教務課 (担当：平野・武山) TEL:0575-24-2212